

平成24年度公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補**・県単

事業名	畑地帯総合整備事業(国補)		事業箇所	笛吹市一宮町塩田		地区名	一宮塩田	事業主体	山梨県
(1)事業着手年度	H10年度	(2)事業期間	H10年度~H19年度	(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	1,748百万円		
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等			
<p>本地区は甲府盆地の東部に位置し、一級河川笛吹川の支流である金川の右岸で中央自動車道の南側に展開する北向きの緩傾斜地であり、ぶどう、ももを基幹作物とする果樹地帯である。</p> <p>この地域の農道は狭小で路面も痛みが激しいため、通作や集出荷に支障を来していた。また、排水路も老朽化し整備が進んでいないため、排水不良や溢水被害が発生していた。</p> <p>果実郷である一宮町の中でも整備が遅れている本地区で、生産性の向上と品質の向上を図るため、農道の整備や排水路を改修し、荷傷み防止や溢水被害を防止することが緊急の課題となっていたため、本事業を実施した。</p>						省略			
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果									
(事前評価未実施)									
<input type="checkbox"/> 主要目標 ・農業生産力の向上 <input type="checkbox"/> 副次目標 ・農業用排水能力の向上 <input type="checkbox"/> 副次効果 ・果樹園景観の保全 ・農地の保全									
(7)整備内容(目標達成の方法)									
農道 (17路線) L=5,110 m W=4.0 m 排水路 (8路線) L=4,872 m W=0.6~1.0m									

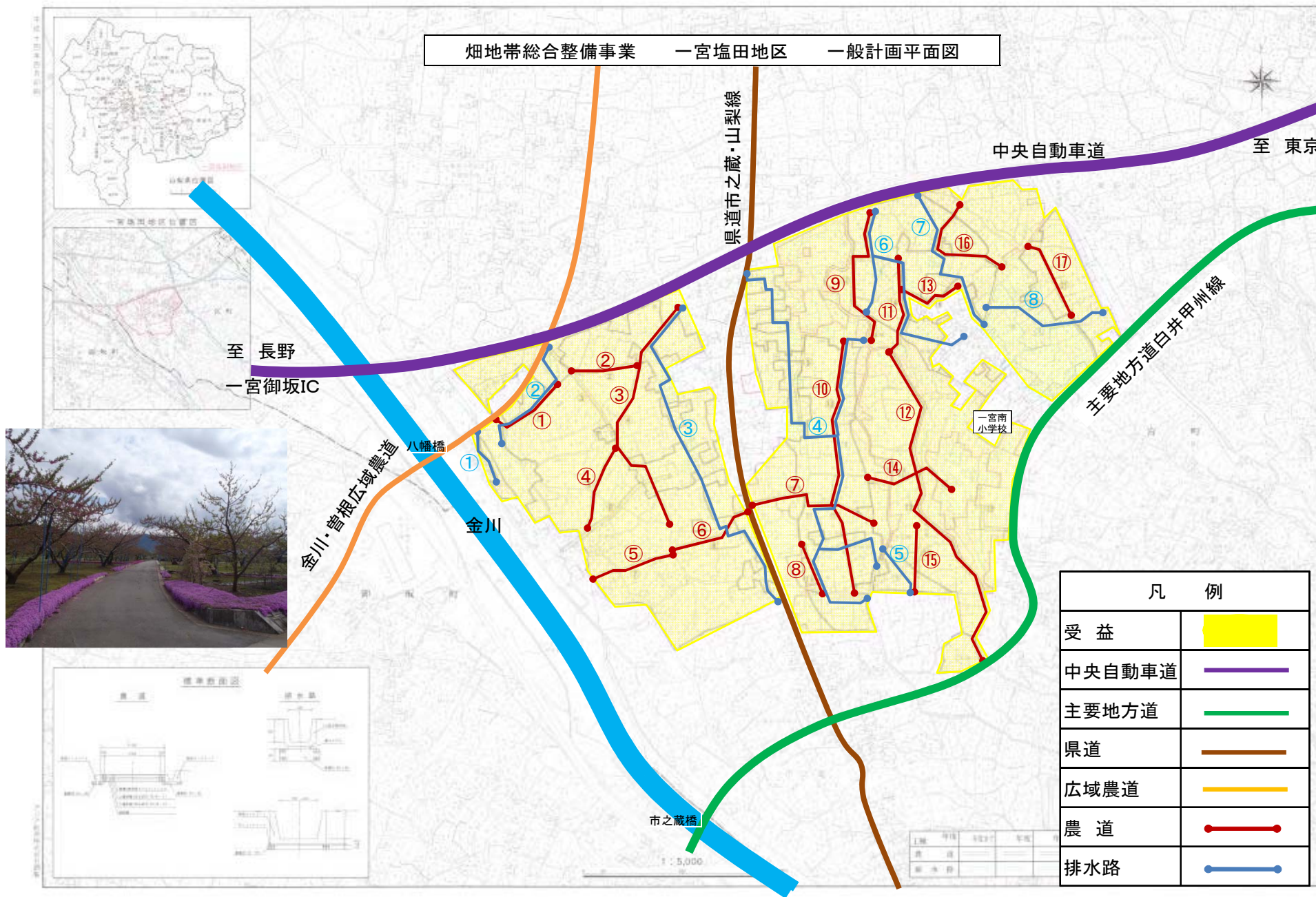
2. 評価シート（1）

<p>(1)事業貢献度 < (良) ・ 不良 ></p> <p>(理由) 本事業で農道や排水路が整備されたことにより、農産物の増収、品質の向上、営農労力の軽減等が図られ、農業所得が増加し、地域農業経営の安定に大きく貢献している。</p> <p>① 主要目標 農業生産力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業所得の増加額</td> <td>351千円/ha→設定せず</td> <td>826千円/ha</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 ・ 農業所得の増加額が、評価基準値351千円/haを上回っている。</p> <p>② 副次目標 農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td>設定せず</td> <td>2.63</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 ・ 排水路の整備により、排水能力向上率が2.63となり、基準値1.0以上を満たしている。</p> <p>③ 副次効果 農地の保全</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>果樹園景観の保全</td> <td>果樹栽培が維持されることにより、良好な果樹園景観が維持されている。</td> </tr> <tr> <td>農地の保全</td> <td>排水機能が改善されたことにより、水路の溢水による表土の流出が無くなり農地が保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ その他の事業効果の発現状況 ・ なし</p>	指標	着手時点数値等	評価時点数値	農業所得の増加額	351千円/ha→設定せず	826千円/ha				指標	着手時点数値等	評価時点数値	用排水能力向上率	設定せず	2.63				項目	内容	果樹園景観の保全	果樹栽培が維持されることにより、良好な果樹園景観が維持されている。	農地の保全	排水機能が改善されたことにより、水路の溢水による表土の流出が無くなり農地が保全されている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < (有) ・ 無 ></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点の計画</th> <th>事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,861百万円</td> <td>1,748百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H10~H14</td> <td>H10~H19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,861百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>1,955百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>1.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成15年度再評価地区 総事業費1,750百万円、工期H10~H18に見直し</p> <p>(要因変化の分析) ・ 総事業費： 既設農道利用や住宅地内などの拡幅困難区間の除外など、路線の見直しを行った事により、113百万円の事業費が減となった。 ・ 工期： 市負担金の制約など年度予算の計上が厳しかったことや、用地買収の遅れによる5年間の工期延長。</p> <p>(3)事業実施による環境の変化 < (有) ・ 無 ></p> <p>①自然環境への影響 ・ 営農条件が改善されたことで、耕作放棄地の発生が未然に防止されたことから、果樹園のおりなす良好な景観が保全されている。</p> <p>②生活・居住環境等への影響 ・ なし</p> <p>③環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合） ・ なし</p>	項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,861百万円	1,748百万円	工期	H10~H14	H10~H19	経済効率性	費用	1,861百万円	便益	1,955百万円	B/C	1.05			1.09
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																										
農業所得の増加額	351千円/ha→設定せず	826千円/ha																																										
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																										
用排水能力向上率	設定せず	2.63																																										
項目	内容																																											
果樹園景観の保全	果樹栽培が維持されることにより、良好な果樹園景観が維持されている。																																											
農地の保全	排水機能が改善されたことにより、水路の溢水による表土の流出が無くなり農地が保全されている。																																											
項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																										
総事業費	1,861百万円	1,748百万円																																										
工期	H10~H14	H10~H19																																										
経済効率性	費用	1,861百万円																																										
	便益	1,955百万円																																										
	B/C	1.05																																										
		1.09																																										

評価シート（2）

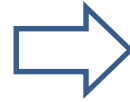
<p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>
<p>① 社会経済状況の変化 ・なし</p> <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化 ・なし</p> <p>③ 事業環境等の変化 ・なし</p>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部、地元の理解を得ることに時間を要したところがあり、工期が5年延伸したことから平成19年度完了となった。 <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の事業実施にあたっては、計画的な予算配分を行うとともに、用地補償交渉を一層綿密に行い時間管理の徹底を図っていく。 事業の計画や調査にあたって、ワークショップ手法などにより、地域の合意形成を図っていく。
<p>(5) 今後の事後評価の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の事後評価において、農業所得の増加額などが基準値を上回り十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期： 年度 ・方法：
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	<p>(9) その他特筆すべき事項 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	<ul style="list-style-type: none"> なし

3. 添付資料シート（1）





①農業用排水路

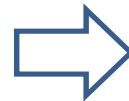


着手前
土水路で漏水が多く、草刈り等の維持管理にも多大な労力を要していた。

完成後
ライニングにより漏水はなくなり、維持管理も大幅に軽減された。また粗面ブロックを使用するなど景観にも配慮を行っ



②農道



着手前
未舗装で軽トラックがぎりぎりの幅員しかなく、農作業の大きな障害となっていた。

完成後
農耕車が容易にすれ違える幅員を確保し、農作業の利便性が向上した。また舗装によって荷傷みも減少した。



完成後
排水路、農道の整備により営農条件が改善され、耕作放棄地の発生が抑制されている。
それによって、豊かな果樹園景観が維持されている。